

せんだい GREEN アクションアワード表彰事業者「仙台配送 本社営業所」



仙台配送 代表取締役社長の尾上寿昭さん

株式会社仙台配送 本社営業所は、エコドライブの徹底に加え、他社と共同で行う「中継輸送」が画期的な取り組みであるとして高く評価された。特に優秀な取り組みを行っている事業者として表彰されたことについて、代表取締役社長の尾上寿昭さんは「全社員のエコドライブへの取り組みの結果だと考えている」と社員への謝意を述べた。

物流業界では、環境に配慮した事業活動を行っている運輸事業者に対するグリーン経営認証というものがある。仙台配送ではこの認証を取得し、以前からエコドライブやアイドリングストップ、事務所内の電気をこまめにオン・オフするなどの取り組みのほか、環境に優しい車種の選択、社用車のこまめな整備など、燃費をよくして温室効果ガスを削減するための努力も積み重ねてきた。

さらに、本プログラムでも高く評価された「中継輸送」という画期的な取り組みも導入。東日本大震災時の復興支援が縁となり交流が続いていた神奈川県横浜市の萬運輸株式会社と共同して、栃木県矢板市を中継拠点として2社で連携して目的地まで配送を行う中継輸送を実施している。中継拠点でドライバーを交代し、ドライバーの走行距離を軽減。日帰りでの運送が可能になった結果、ドライバーが車中泊をする必要がなくなり、環境への負荷を軽減するだけでなくドライバー

の労働環境の改善にもつながった。



「中継輸送」に使用する2社のトラック

「他社間でのドライバー交代方式の中継輸送は恐らく日本初」とのこと。運送業のドライバーが他社のトラックを扱うことは珍しいが、元々仕事に合わせて使用するトラックを変える業態だったため、大きな抵抗なく中継輸送をスタートできたという。積み荷の確認やドライバー間での引き継ぎ、車の点検を両社のドライバーが一緒にするなど、責任の所在に関する不安を払拭する工夫も取り入れている。

今後はこういった中継輸送に関するノウハウの提供等も考えているとのこと。業界全体の働き方を見直すきっかけになることも期待される。